

# CASBEE®-建築(新築)

# 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v4.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	株式会社カネカ高砂物流センター新	階数	地上4F
建設地	兵庫県高砂市荒井町新浜2丁目275	構造	S造
用途地域	工業地域	平均居住人員	40人
地域区分	6地域	年間使用時間	3,276時間/年(想定値)
建物用途	事務所,工場,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2022年5月 予定	評価の実施日	2021年2月10日
敷地面積	18,220 m <sup>2</sup>	作成者	山中 隆史
建築面積	10,679 m <sup>2</sup>	確認日	
延床面積	37,230 m <sup>2</sup>	確認者	

外観パース等  
図を貼り付けるときは  
シートの保護を解除してください

### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.4**

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

30%: ★★★★★ 60%: ★★★★★ 80%: ★★★★★ 100%: ★★★★★ 100%超: ★★★★★

標準計算

①参照値 100%  
②建築物の取組み 72%  
③上記+②以外の 72%  
④上記+ 72%

0 46 (kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>) 92

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 2.7**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.0

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.3

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 2.1

**LR のスコア = 3.7**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア= 4.4

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.0

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.4

3 設計上の配慮事項		
<b>総合</b> これは、CASBEE-建築(2016年版) 全国版による評価である。		<b>その他</b> この物流倉庫は、株式会社カネカで製造した繊維及び樹脂等の製品を全国に発送するため、一時的にその製品をストックする倉庫になります。
<b>Q1 室内環境</b> ・D値40の界壁、および天井のグラスウール吸音材を使用し、遮音性を高めた。 ・事務所昼光率2.0になるようにサッシを配置し、また、事務室(全般照明方式)の照度を約775~787lxになるよう照	<b>Q2 サービス性能</b> ・リフレッシュスペースは十分な広さを確保したうえ、自販機を配置することで、従業員が休憩を取りやすくなるよう配置した。 ・外壁は、耐用年数50年のALCパネルを採用し、持続する	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> ・敷地外周に緑地を配置した。 ・建築物等緑化計画届より、太陽電池設置面積の半分を緑地扱いてできるものとし、建物緑化指数27%を記録した。
<b>LR1 エネルギー</b> ・グラスウールを断熱材に使用し、事務所部分のBPI <sub>m</sub> =0.72を記録した。 ・倉庫には、高効率な照明を配置し、全体BEI <sub>m</sub> =0.451になるようなエネルギー消費効率を記録した。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> ・S造につき、躯体と仕上げ材が容易に分別可能になっている。 ・断熱材は、グラスウール(ノンフロン、鉱物繊維系であるため発泡材を使用しない)	<b>LR3 敷地外環境</b> ・隣棟間隔指数が、1.68になる配置をし、敷地を通った風が回復しやすいようにした。 ・倉庫内にゴミの多種分別可能なストックスペースを計画し、発生するごみの集計並びに有価物の計画的な回収計画を徹底している。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される